

国の第2次食育推進基本計画 コンセプト「周知」から「実践」へ

3つの「重点課題」

- ①生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進 ②生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進
 ③家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進

第1次食育基本計画(H18年度～22年度)	第2次食育基本計画(H23年度～27年度)
<p>食育の推進目標 9項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食育に関心を持っている国民の割合 (目標 90%以上)→現状 71.7% 2 朝食を欠食する国民の割合 (目標:子供 0%、20代・30代男性 15%以下)→子供 1.6%、20代男性 30%・30代男性 27.7% 3 学校給食における地場産物を使用する割合の増加 (目標 30%以上)→現状 23.4% 4 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている国民の割合 (目標 60%以上)→現状 50.2% 5 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)を認知している国民の割合(目標 80%以上)→現状 92.7% 6 食育の推進に関わるボランティアの数 (目標 20%増)→現状 23.2%増 34.5万人 7 教育ファームの取組がなされている市町村の割合 (目標 60%以上)→現状 19.4% 8 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合 (目標 60%以上)→現状 55.6% 9 推進計画を策定・実施している都道府県及び市町村の割合 (目標 都道府県 100%、市町村 50%以上) →現状都道府県 100%、市町村 39.5%以上 	<p>食育の推進目標 11項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食育に関心を持っている国民の割合の増加 現状 71.7%→目標 90%以上 2 <u>朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加</u> 現状 9回→目標 10回 3 朝食を欠食する国民の割合の減少 現状:子供 1.6%、20代・30代男性 28.7%→目標子供 0%、20代・30代男性 15% 4 学校給食における地場産物を使用する割合の増加 現状 23.4%→目標 30%以上 5 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合の増加 現状 23.4%→目標 60%以上 6 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合の増加 現状 41.5%→目標 50%以上 7 <u>よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合の増加</u> 現状 70.2%→目標 80%以上 8 食育の推進に関わるボランティアの数の増加 現状 34.5万人→目標 37万人 9 <u>農林漁業体験を経験した国民の割合の増加</u> 現状 27%→目標 30%以上 10 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合の増加 現状 55.6%→目標 90%以上 11 推進計画を策定・実施している都道府県及び市町村の割合の増加 現状 市町村 39.5%→目標 市町村 100%

